



XIB 森・濱田松本法律事務所 共催ウェビナー

段階的な株式取得を通じたインド市場攻略のコツ

～将来を見据えた株主間契約の作り方と事業運営上の留意点～

近年インドの成長は著しく、英国を抜き世界第5位の経済大国になったとのIMFの報告もあります。コロナ禍の中においても、インドへの対外直接投資の額は820億ドル（FY2021）から836億ドル（FY2022）に増加しており、その中で日本からの投資は大きな割合を占めています。今後も、日本企業にとってインド市場の重要性は益々増加することが予想されます。

もっとも、インド市場に進出しようとする場合、必ずしも100%自己資本のもと、自社のノウハウのみで事業運営することは容易ではない可能性があります。その場合に検討される手法が「段階的な株式取得を通じたインド市場攻略」といえます。

すなわち、日本とは企業文化や慣習が異なるインドにおいて、まずは現地のパートナー企業と組んで少数の株式保有を通じて合弁会社の運営に関与し、その収益性が確認された後に持ち分を買い増す方法が考えられます。これにより、事前に発見しにくい事業上や法律上のリスクを低減することが可能になります。

この場合、少数株主として、どのように事業運営に関与し、現地パートナーに独断で事業運営を行わせないかの工夫が大切になります。また、将来の株式追加取得についてパートナー企業との協議も重要です。これらの論点を念頭に、日本企業の立場から重要となる、株主間契約の作成方法と事業運営上の留意点を解説します。

本セミナーでは、まず冒頭においてXIBより昨今のインド - 日本間のM&A動向ならびにいわゆる Phased Acquisition（段階的な株式取得）の概略につき触れ、その後講師である森・濱田松本法律事務所の小山弁護士より、インド市場における段階的な株式取得に関して法務的な観点よりご説明いただきます。セミナーの最後に、インドの大手法律事務所です5年半にわたり勤務した後、2020年より森・濱田松本法律事務所に移籍したSubham Agarwal 弁護士が、普段どのように日本企業をサポートしているかを手短かに説明します（この説明は英語のみになります）。

日時 2022年11月7日（月）13時～14時

場所 Microsoft Teams を使用したヴァーチャルセミナー（ウェビナー）形式で実施します。

参加費は無料です。

講師 小山 洋平（森・濱田松本法律事務所 パートナー弁護士）

国内外のM&A案件を中心に企業法務を幅広く取り扱う。2011年のNew Delhiの法律事務所での勤務以降、現在に至るまで、幅広いインド案件を扱う。

お申込み 本セミナーにお申込みを希望される方は、下記担当者までお知らせください。

担当 : 原田 透（XIB マネジングディレクター）

連絡先 : toru.harada@xibcapital.com / 03-6259-1156